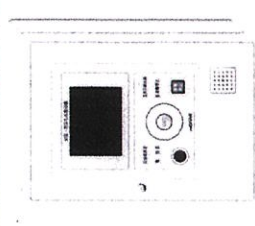


# 広島県情報プラザ

## 自動火災報知設備 警戒区域図

# 火災・ガスもれ表示機 取扱説明書 FIRJ008-R



**注意**

- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。また、本文中に記載されている注意事項を注意深く読み、よく理解した上でご使用ください。
- この取扱説明書はいつでも使用される所に保管してください。
- この商品に定期的な保守点検を必ず行ってください。

**1. 安全にご使用いただくために**

- ご使用前にこの「安全にご使用いただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 危険や障害の発生を知らせるため、設置する場所を慎重に選定し、設置する際に発生しうる内容を「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分しています。
- 「危険」：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うかまたは防犯機器に致命的な影響を及ぼすことが想定される場合。
- 「警告」：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは防犯機器の一部に重大な影響を及ぼすことが想定される場合。
- 「注意」：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは防犯機器の一部に影響を及ぼす可能性がある場合、および防犯機器を長期にわたって有効に活用する上で、ぜひ守ってほしい事項。

絵表示の見方

- 左の記号は危険、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。
- 右の記号は禁止を告げるものです。
- 左の記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

**2. 使用上の主なご注意**

火災・ガスもれ警報装置をお使いいただくために、以下の点にご注意ください。

- 警告**
  - 機器が故障したときは、速やかに販売店に連絡してください。故障を放置すると正常に機能しません。
  - 保守点検業者以外は本体内部に手をふれないでください。感電、故障の恐れがあります。
- 注意**
  - 機器の操作は必ず手で行ってください。手以外の物では正確な操作ができず、また機器を故障させることがあります。
  - 各機器の正しい取扱いを厳密に、緊急時に備えてください。緊急時の対応が容易になります。
  - 本装置はシステムに正常な機能を果たすために、必ず定期的点検を行ってください。この定期点検を怠ると火災時に正常に機能しない恐れがあり、その責任を問われることがあります。

**3. 寿命部品の定期交換について**

本システムを運用するためには、寿命部品の定期交換が必要です。本システムに使用している電気部品は、設置後の時間経過とともに劣化、磨耗していきます。システムを更替または修理管理しただけでなく、故障が発生した時点でなく、予防保全の観点から定期的に寿命部品の交換（有償）をしていただき、計画的に整備していただく必要がありますようお願ひ申し上げます。

- 定期交換推奨年数はこの製品の電圧部品、および本システムの機能、性能を確保するものではありません。
- 定期交換推奨年数は取扱説明書と併せて使用し、良好な環境で使用した場合の推奨値です。
- 寿命部品のみの電気部品・ユニットについても、経過年数化により劣化・故障は発生します。
- 寿命部品の交換を行う場合は、仕様や取付方法、設定方法に注意が必要です。当社CS部門または代理店・特別店にご用命ください。
- 寿命部品のモジュール交換や生産中止によっては、対応するための加工が必要になることがあります。
- 設置後年数が経つと、部品の在庫品がなくなり、寿命部品を含めた電圧・電子部品の供給が滞りかねない場合があります。この場合には、システムの更新（リニューアル）が必要となります。

【寿命部品および定期交換推奨年数】一覧

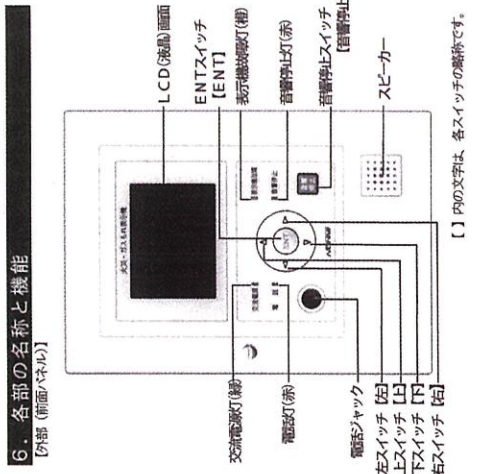
名称	定期交換推奨年数
蓄電池 (予備電源)	5年

**4. 概要**

本機は、R型受動探知と検知することにより、受動探知で検知する火災・ガスもれ発生状況及び各種警報装置などの作動内容、本機に指示することができます。

**5. 仕様**

種別	メッセージ表示機
型名	FIRJ008-R
主電源	AC100V±10% 50/60Hz
予備電源	密閉型蓄電池内蔵 DC9.6V 0.6Ah
回路電圧	DC3.3V
消費電力	平常時：最大約5VA、作動時：最大約6VA
検知対象機器	R-24シリーズ・R-22シリーズ
／主な付属品	
音響装置	スピーカ内蔵
液晶表示 (カラーLCD)	火災地区表示 ガスもれ地区表示 煙味検知動作地区表示 試験対象地区表示
環境条件	使用温度範囲 0℃~40℃ 使用湿度範囲 20%~85%
外形寸法	170 (W) × 240 (H) × 65 (D)
質量	約1.1kg



**7. 内部設置図**  
【内部 (開閉口側)】

※1. 火災地区とガスもれ地区の表示エリアは専用です。火災とガスもれが同時に発生した場合、[ENT]スイッチの操作で切り替えます。  
また設定により、火災警報部に注意警報の表示も可能です。  
【設定可能な受動探知】は、R-24シリーズ、R-22MA、LX、EX  
※2. 選択設定、集約表示においては、別紙、データベースによる設定が必要になります。

**8. 正常状態の確認**

日常はこの状態を確認して下さい。

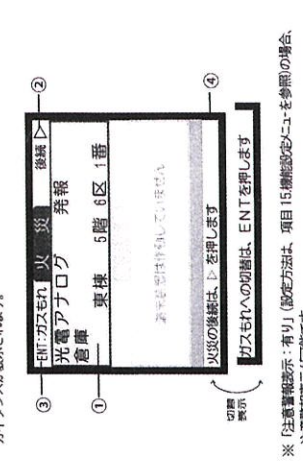
- 表示機が正常状態にあるか、目視から確認してください。
- 正常状態にない場合は要復旧で発生した情報を正しく表示できません。
- その他の表示灯は、すべて消灯しています。
- 停電時は、予備電源に切りかわり、交流電源が点滅します。
- また「主電源前の音響装置」有り（動作方法は、項目15機能設定メニューを参照）の場合、10分間の音響「ブザー」が鳴動し、停電であることお知らせします。（停電から回復した場合は自動的に音響は停止します）
- ※LCD画面は解像度の高い技術で作られており、画面の一部に点灯しないドットや暗部点灯しているドットがある場合があります。これは故障ではありません。

警告 予備電源は必ず取り付けておいて下さい。予備電源がないと、停電時に機能しません。

**9. 警報発生時の動作**

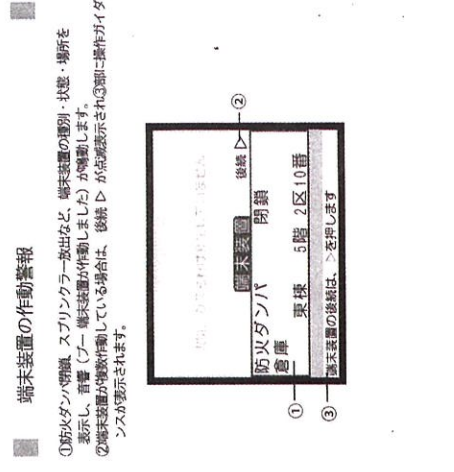
**火災警報**

- 火災発生場所を表示し、音響（ビー・火災発生）が鳴動します。
- 火災が複数発生している場合は、後続▷が点滅表示され、④部に操作ガイドが表示されます。
- ガスもれが同時に発生している場合は、ENT/ガスもれが表示され、④部に操作ガイドが表示されます。

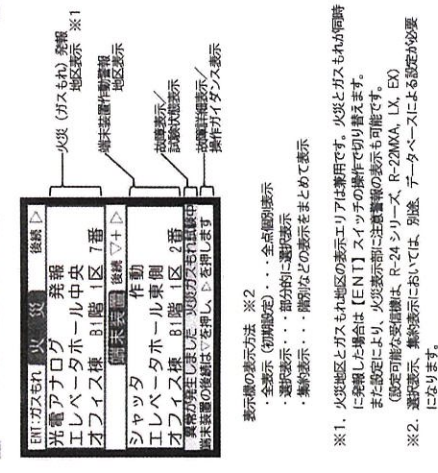


**ガスもれ警報**

- ガスもれ発生場所を表示し、音響（ビビビビ ガスもれ発生）が鳴動します。
- ガスもれが複数発生している場合は、後続▷が点滅表示され、④部に操作ガイドが表示されます。
- ガスもれが同時に発生している場合は、ENT/火災が表示され、④部に操作ガイドが表示されます。



**表示機で確認できる内容**





## 10. 操作方法

### 音を止めるとき

- 各種発生時の音響を停止するには、【音響停止】スイッチを押して下さい。  
【音響停止】ランプが点灯すると音響が鳴らなくなります。
- 【左】を押すと、最後の音響が表示されます。
- 【右】を押すと、1つ前の音響が表示されます。

- 火災 (ガスもれ) と、異常音響 (四方の地区表示に後継があるとき)
- 警報装置の地区表示が水色の時に、火災 (ガスもれ) の後継を確認する場合は、【左】で火災 (ガスもれ) の地区表示部をピンク (ガスもれ表示時は黄色) にし、【右】で後継を表示して下さい。
- 火災 (ガスもれ) の地区表示部がピンク (ガスもれ表示時は黄色) の時に、後継の後継を確認する場合は、【下】で警報装置の地区表示部を水色にし、【右】で後継を表示して下さい。

### 「ENT:ガスもれ」「ENT:火災」が表示されているとき

- 火災警報とガスもれ警報が同時に発生しています。
- 火災警報発生時に「ENT」スイッチを押すことで、ガスもれ警報の1報目を表示します。また、ガスもれ警報発生時に「ENT」スイッチを押すことで、火災警報の1報目を表示します。



### 電話呼び出しのとき

- 受信機へ電話するとき
- 受信機の電話ジャックに受信機を接続すると電話が点灯し、受信機で音響 (フルレール、フルレール) が鳴動します (ジャックを取り外すと音響が止まります)。
- 受信機で電話ジャックに電話機を接続すると、音響が停止し、受信機側と通話が可能になります。
- 受信機から表示呼び出しがあったとき
- 電話が受信し、音響 (フルレール、フルレール) が約10秒間鳴動し、自動的に停止します。鳴動中は音響を停止することはできません。
- 受信機の電話ジャックに受信機を接続すると、種別が点灯し受信機側と通話が可能になります。(鳴動中に電話ジャックを接続すると音響が停止します。)

### 1-1. 受信機での試験中表示

- 受信機にて試験を実施している場合は、次のように表示されます。
- 火災ガスもれ試験中は画面右下に①が表示されます。
- 作動試験中は画面右下に②が表示されます。



### 1-2. 異常時の表示

- (1) 表示の故障および受信機からの異常信号が送られてきたとき
- 「異常が発生しました」を①部、故障警報を②部に表示し、音響 (グループ) が発生しました) が鳴動します。
- 操作ガイダンスと故障詳細表示の両方を表示する場合は順次表示内容が切り替わります。
- 音響を停止するには、【音響停止】スイッチを押して下さい。



- ※ 「受信機異常表示設定: 無し」(設定方法は、項目 15.機能設定メニューを参照) の場合、受信機異常表示は表示されません。
- (2) 表示機のCPUが復旧の時
- 音響 (グループ) 異常が発生しました) が鳴動します。
- 【音響停止】スイッチでは、音響を停止することはできません。
- 本体内部のCPU異常 (LPE) が黄色で点灯します。

### 【点検・施工される方へ】

- R-22シリーズで使用する場合
- 必ず、「機能設定メニュー」にて「R-22」を選択して下さい。R-22にしないと文字が正しく表示されません。
- また、R-22M・R-22Sにて使用する場合は、「機能設定/アドレス変更設定」にて「アドレス」を選択して下さい。
- 施工後必ず動作確認を行い、表示が正しくなれることを確認して下さい。

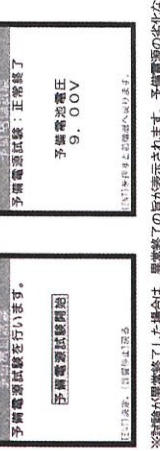
### 1-3. 保守メニュー

- 「保守メニュー」の表示方法と操作可能な内容について
- 設定は必ず音響を閉じて下さい。
- 引っかけたけがし、盤内を接続する原因となります。
- 【ENT】スイッチを3秒間以上押し続けると、「保守メニュー」の画面が表示されます。
- 【上】[下] でメニューを選択し【ENT】スイッチで決定します。



### 予備電源試験

- 「予備電源試験」を選択し【ENT】スイッチを押すと、画面①が表示されます。続いて【ENT】スイッチを押すと試験を開始します。
- 試験中は電圧値と試験状態がバーセンター表示が実行されます。
- 試験が正常終了すると画面②のように表示されます。確認後【ENT】スイッチを押してください。



### 定期交換確認

- 「定期交換確認」を選択し【ENT】スイッチを押すと、下記画面が表示されます。予備電源を交換した場合は、【ENT】スイッチを3秒押しするとリセットが完了します。
- 計時リセットが完了すると、毎月リセットされます。確認後【ENT】スイッチを押して下さい。



### 各種設定確認

- 「各種設定確認」を選択し【ENT】スイッチを押すと、下記画面が表示されます。本装置の設定状態を確認できます。確認後【ENT】スイッチを押して下さい。

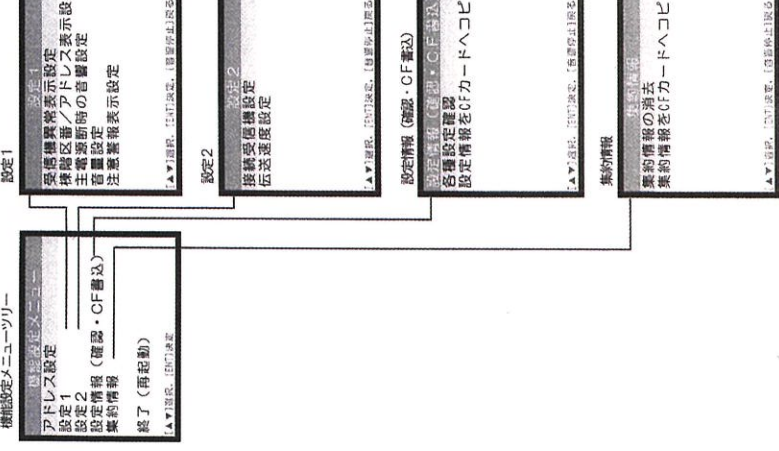


### 1-4. 保守音響停止

- 本機の音響を保守点検などで運搬時に停止したい場合は、【音響停止】スイッチを連打3秒以上押すと、受信機の保守音響停止 (保守) を操作して下さい。
- 音響停止ランプが点灯して運搬禁止状態になります。
- 音響停止を解除する際は、もう一度【音響停止】スイッチを押すと、受信機の保守音響停止 (保守) を解除操作して下さい。

### 1-5. 機能設定メニュー

- 「機能設定メニュー」の表示方法と操作可能な内容について
- 【ENT】スイッチを押しながら電源スイッチをONにし、「機能設定メニュー」が表示されるまで【ENT】スイッチを押す操作を行います。
- 【上】[下] でメニューを選択し【ENT】スイッチを押すと、アドレス設定画面と、各詳細メニューに切り替えることができます。



- 各詳細メニュー表示後、【上】[下] でメニューを選択し【ENT】スイッチで決定します。
- メニュー内でのスイッチの強制は下記の通りです。
- 【上】...項目選択時の下移動スイッチ
- 【下】...項目選択時の上移動スイッチ
- 【ENT】...選択項目の決定と設定後前の階層へ戻るスイッチ
- 【音響停止】...各項目内の設定を中断し戻すスイッチ

**注意**  
「機能設定メニュー」の設定が正しくない場合、機器が正常に動作しなくなります。

**警告**  
設定の変更は十分に理解して操作して下さい。不用意な設定変更は正常に動作せず、人に危害を及ぼす恐れがあります。

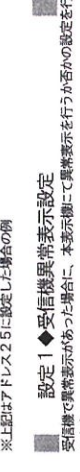
### アドレス設定

- 本装置のアドレスを1~31の範囲で設定を行います。
- 「アドレス設定」を選択すると、画面①が表示されます。【左】[右] でアドレスを選択し、【ENT】スイッチを押します。
- 「アドレス」の値が確定すると、画面②が表示されます。【左】[右] でアドレス位を選択し、【ENT】スイッチを押します。
- 「アドレス」の値が確定すると画面③のように変更後のアドレスが表示されます。【ENT】スイッチを押して下さい。



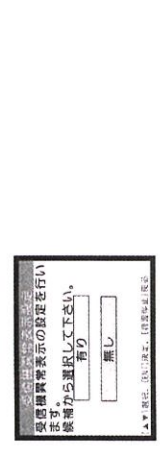
### 設定1 ◆受信機異常表示設定

- 受信機で異常信号があった場合に、本装置側にて異常表示を行うか否かの設定を行います。
- 「受信機異常表示設定」を選択すると、下記画面が表示されます。
- 【上】[下] で有り/無しを選択します。
- 【無し】...受信機からの異常を表示しません。(デフォルト)
- 【有り】...受信機からの異常を表示します。
- 【ENT】スイッチで決定します。
- 設定が確定すると変更後の内容を表示します。確認後【ENT】スイッチを押します。



### 設定1 ◆検出区番/アドレス表示設定

- 本装置側にて地区表示する内容を、検出区番表示にするかアドレス表示にするかを設定を行います。
- 「検出区番/アドレス表示設定」を選択すると、下記画面が表示されます。
- 【上】[下] で検出区番/アドレスを選択します。
- 「検出区番」...地区表示部分に検出区番を表示します。(デフォルト)
- 「アドレス」...地区表示部分にアドレスを表示します。
- 【ENT】スイッチで決定します。
- 設定が確定すると変更後の内容を表示します。確認後【ENT】スイッチを押します。



### 設定1 ◆集約情報表示設定

- 集約情報 (検出・CF警報)
- 「集約情報表示設定」を選択すると、下記画面が表示されます。
- 【上】[下] で有り/無しを選択します。
- 【無し】...集約情報から集約して下送り。
- 【有り】...集約情報から集約して下送り。
- 【ENT】スイッチで決定します。
- 設定が確定すると変更後の内容を表示します。確認後【ENT】スイッチを押します。



### 警告

- R-22S/A受信機に接続する場合は、必ず「アドレス」設定に切り替えて下さい。1階級区番、設定のまま適用すると、アドレス情報が変更されないため、火災やガスもれの発見が遅れ、人に危害を与える恐れがあります。

自動火災報知設備			
記号	名称	仕様	備考
	受信機	GR型受信機 2040アドレス	
	消火栓	(P) (B) 検出	
	総合せ	(P) (B) 内蔵	
(P)	受信機	アドレックダブル発信機	
(B)	表示灯	AC24V, ダイオード式	
(B)	電鈴	DC24V 10mA 150mm	
(B)	差動式スポット型感知器	自動試験機検付	
(B)	差動式スポット型感知器	防水型・自動試験機検付	
(B)	熱アナログ式スポット型感知器	60℃, 自動試験機検付	
(B)	熱アナログ式スポット型感知器	60℃, 防水型 自動試験機検付	
(B)	熱アナログ式スポット型感知器	75℃, 防水型 自動試験機検付	
(B)	光電アナログ式分線型感知器	2種, 自動試験機検付 (煙感知器)	
(B)	光電アナログ式分線型感知器	(コンベンションホールの空中にある2カ所)	
(B)	ガス漏れ検知器		
(B)	防火検知器番号		
(B)	防火器		
(B)	防火シャッター		
(B)	防煙巻れ壁		
(B)	防煙ダンパー		
(B)	防煙口		
(B)	防火器番号		
(B)	防火シャッター番号		
(B)	防煙巻れ壁番号		
(B)	防煙ダンパー番号		
(B)	ハロン用防煙ダンパー番号		
(B)	防煙口番号		
(B)	光電アナログ式スポット 連絡用	3種, 自動試験機検付 (煙感知器)	
(B)	連絡用感知器番号		

OOO	OO階	OO区	OO番
共用	B2	1	1
管理	B1	2	2
駐車場	1	3	3
図書館	M1 (階段室)		
文書庫	2		
産産科病室 (テナント)	M2 (階段室)		
貸会議室 (多目的, 2階)	3		
レストラン	M4 (ジムウエーター)		
差動機 (1階, 3階, 4階)	4		
	5		
	M5 (階段室)		42
	6	35	43
	M5 (階段室, エレベーター)	36	

メッセージ : 例)	機械室	廊下	例)	多目的ホール
	例) 図書館用巻機 (5)	例) 文書館用巻機 (1)	例) 事務室	
	例) 家賃員室	例) 厨房	例) 資料展示コーナー	
	例) 東 EPS	例) 中央 DS	例) 清掃室	
	例) . . . . .	例) . . . . .	例) . . . . .	

表示内容 : 例)	光電アナログ 発報	光電アナログ 発報	光電アナログ 発報	発報
	廊下 共用 B2階 3区 2番	水廻り室 管理 B2階 22区 9番	駐車場 B2階 1区 5番	公用車庫
	巻機 階層室 図書館 1階 14区 9番	巻機 北 特別展示室 文書館 2階 9区 10番	巻機 産産科 3階 2区 6番	巻機
	巻機 EVホール (1) 共用 1階 5区 19番	光電アナログ 発報 東 高層 (2) 管理 4階 1区 1番	光電アナログ 発報 多目的医所 共用 2階 13区 1番	光電アナログ 発報
	防火戸 階層 (1) EV1・2前 共用 1階 1区 4番	防火シャッター 閉鎖 客室 北 コンベンション館 レストラン 1階 2区 1番	防火シャッター 閉鎖 防産科社 廊下 図書室 東側 図書館 1階 4区 4番	防火シャッター 閉鎖
	防煙口 第三階巻機室 貸会議室 2階 7区 4番	防煙ダンパー 閉鎖 西 PS 管理 4階 8区 3番	防煙ダンパー 閉鎖 ハロンダンパー 巻機室 管理 6階 9区 18番	防煙ダンパー 閉鎖